

1 教育目標

(1) 教育目標

《校訓》

正しく 強く 明るく

《めざす
子ども像》

・鍛え合う子 (心身ともにたくましい子)	→ げんき
・学び合う子 (自ら学び深く考える子)	→ こんき
・助け合う子 (思いやりがあり心やさしい子)	→ おもいやり

笑顔あ
ふれる
一東小

(2) 経営方針

- ① 子どもや地域の実態を捉えて生かし、子どもや教職員が活力に満ちた特色ある学校づくりを推進する。
- ② 子どもの学ぶ力・教師の授業力の向上をめざし、学習指導の充実に努める。
- ③ 子どもがのびのびと生活・学習できる安全・安心な学校づくりを進める。
- ④ 子ども一人一人の個性を尊重し、他者とよりよくかかわりながら、自ら考え判断、行動し、自己実現できる児童の育成に努める。
- ⑤ 家庭や地域から信頼される学校・教職員をめざし、互いの思いを共有できる機会を大切にして相互理解を図る。

(3) 本年度の重点目標

① 特色ある学校づくりを推進する

- ◇ 小規模校の良さを生かした縦割り活動やペア活動などを大切にして、教師が寄り添いながら、一人一人の児童が互いにより良いかかわりを構築し、学校生活を楽しめるようにする。
- ◇ 学校や地域を愛する子どもを育てるために、学校を含めた校区のことをより深く知る機会を意図的に設け、健全な成長のためにかかわっている多くの方への感謝の気持ちをもてるような教育活動の推進を図る。

② 学習指導の充実に努める

- ◇ 研究主題「ともに高めあい いきいき学ぶ 子どもの育成」の具現化を図るために、研究組織を機能させ、一人一人の教職員が、主体的に研修を進め、自らの授業力を高める。
- ◇ 子どもの主体的・対話的な深い学びを支える基礎基本(知識・技能)を計画的・継続的に習得させるように、学習課題の設定・発問や板書・学習形態などを工夫した授業研究を進める。また、自ら学ぶことを推進するために、取材活動を意図的に学習計画に組み込むことに努める。
- ◇ 学習場面だけでなく、学校生活の中でも英語にふれる機会を意図的に増やす。

③ 子どもにとって魅力的な環境を作るとともに、安全・安心な学校づくりを進める

- ◇ 子どもの落ち着いた学習環境、子どもがのびのびと活動できる環境、子どもが学びを共有できる環境づくりに努めるとともに、ICT機器による効率の良い学習を目指す。
- ◇ 安全な学校生活ができる環境を整える。
- ◇ 自然災害、交通事故、犯罪から子どもを守るため、計画的な指導や訓練を実施する。

④ 自己実現できる児童の育成に努める

- ◇ 一人一人の子どもの居場所づくり、自己肯定感を得られる温かな学級づくりに力を入れる。
- ◇ 小さな変化を見逃さず、必要に応じてサポート委員会や小委員会を開催し、全教職員が実態や支援の方向性を共有するとともに、継続した支援を行う。
- ◇ 特別支援教育について教職員の研修を深めるとともに、インクルーシブ教育を推進する。

⑤ 家庭・地域と結びついた教育活動を進める

- ◇ 地域に開かれた学校づくりの理念のもと、家庭や地域と積極的にかかわり、それぞれの思いを共有して、より良い学校づくりの一指針とする。
- ◇ 地域にある「人」「もの」「こと」を教育資源ととらえ、積極的に授業に取り入れるとともに、地域ぐるみで子どもを育てる気風を高める。

⑥ 教職員の心身ともに健康な状態を維持できるような環境づくりを進める。(多忙化解消を含む)

- ◇ 児童数減、学級数減、職員数減への対応を、対症療法的ではなく中期的にとらえて先手を打つ。価値ある教育活動を吟味し、職員の負担軽減となるものへと昇華させる。